

第4次長沼町障がい者基本計画・第7期長沼町障がい福祉計画・第3期長沼町障がい児福祉計画の策定に向けた

# 関係団体等ヒアリング調査

結果報告書

令和5年9月



# 目次

<b>第1章 調査の概要等</b>	1
1-1 調査の目的	2
1-2 調査の種類と実施方法	2
1-3 調査票の配布と回収の状況	2
1-4 集計結果の表し方	3
<b>第2章 障がい者支援に関する法人・事業所調査 集計結果</b>	5
<b>第3章 障がい者支援に関する関係団体等調査 集計結果</b>	15



---

# 第1章

## 調査の概要等

---

## 1-1 調査の目的

本調査は、令和 6 年度を初年度とする「第4次長沼町障がい者基本計画・第7期長沼町障がい福祉計画・第3期長沼町障がい児福祉計画」の策定に向けて、障がい者支援を行う法人・事業所・関係団体等の現状や意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるために、このアンケートを実施しました。

## 1-2 調査の種類と実施方法

調査の種類と対象者	実施方法	調査方法
①障がい者支援に関する法人・事業所調査		
障がい者支援を行う法人・事業所	全数	郵送による配布・回収 自己記入
調査期間 令和 5 年 7～8 月		
②障がい者支援に関する関係団体等調査		
障がい者支援を行う関係団体等	全数	郵送による配布・回収 自己記入
調査期間 令和 5 年 7～8 月		

【調査対象地区】 町内全域

## 1-3 調査票の配布と回収の状況

調査の種類	配布数	回収数	回収率	有効集計数
①障がい者支援に関する法人・事業所調査			%	37
②障がい者支援に関する関係団体等調査			%	3

※回収数・回収率には集計対象の期間を過ぎて提出された分も含む

## 1-4 集計結果の表し方

---

- 選択設問は単一回答(○は1つだけ)、複数回答(あてはまるものすべてに○)の2種類があります。
- 単純集計の単一回答は円グラフ、複数回答は横棒グラフで表しています。
- クロス集計は単一回答、複数回答ともに数値表(横棒グラフ)で表しています(単位:回答者数は人、横棒グラフは%)。
- 図表の数値は、各設問の無回答を含む回答者数に対する百分率(%)で表しています。障がい者支援に関する関係団体等調査については回答数で表しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、百分率の合計が100%を超えることがあります。
- 値や回答者数(n)が少ない項目については、グラフ中の%表記、コメントを省略しているものがあります。





---

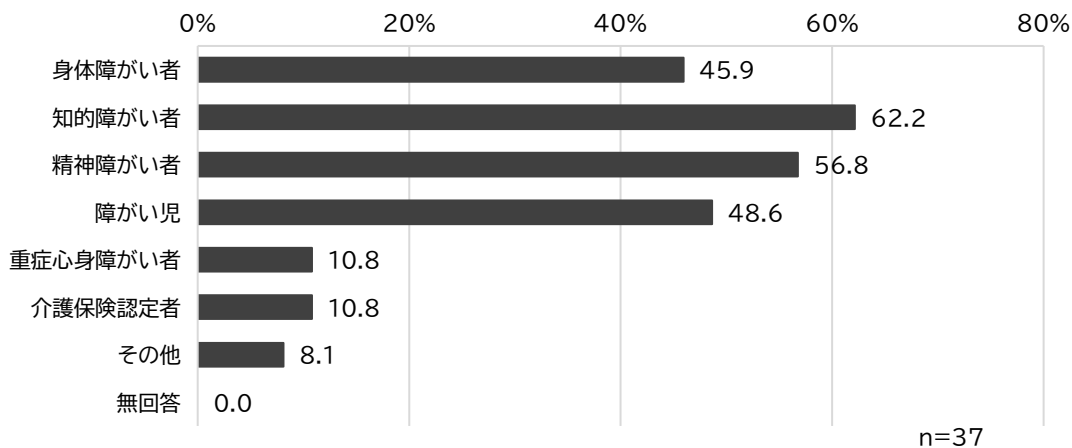
## **第2章**

### **障がい者支援に関する法人・事業所調査 集計結果**

---

問1 貴法人・事業所のことについて、ご記入ください。  
 (4) 貴法人・事業所の主な対象者(あてはまるものに○)

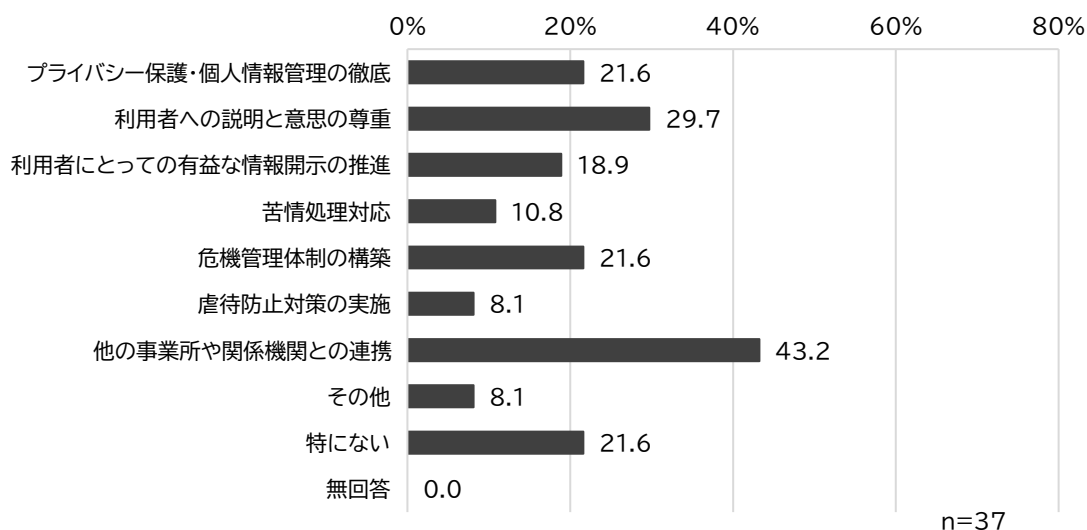
「知的障がい者」が 62.2%と最も高く、次いで「精神障がい者」が 56.8%、「障がい児」が 48.6%、「身体障がい者」が 45.9%となっています。



問2 貴法人・事業所が提供しているサービスにおける①事業実施上の課題、②利用者支援での課題、③利用者からの苦情や相談について、ご記入ください。  
 (あてはまるものすべてに○)

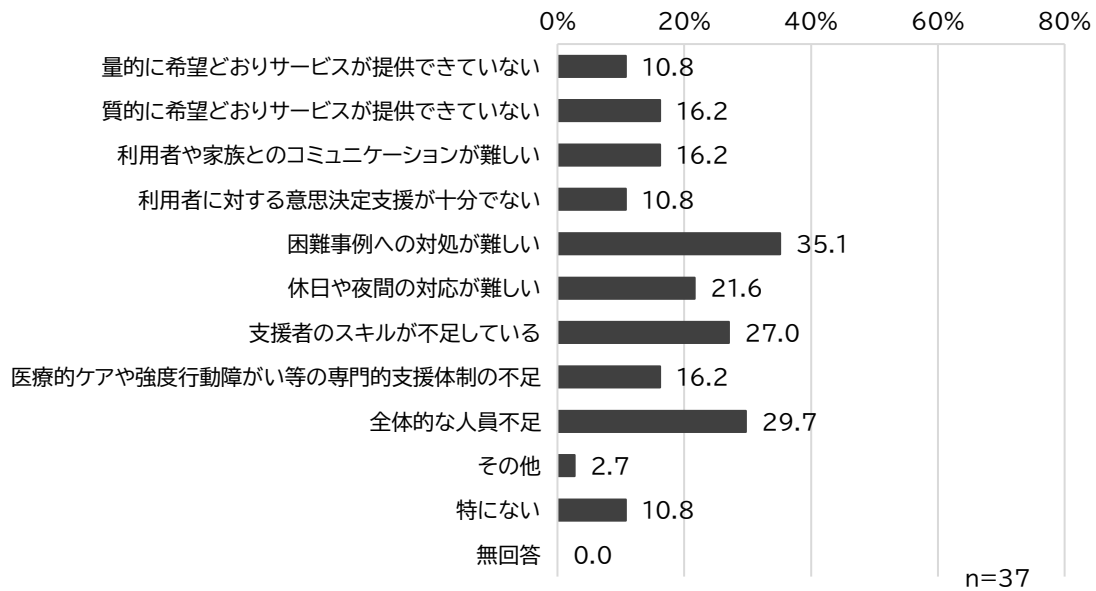
①事業実施上の課題

「他の事業所や関係機関との連携」が 43.2%で最も高く、次いで「利用者への説明と意思の尊重」が 29.7%となっています。



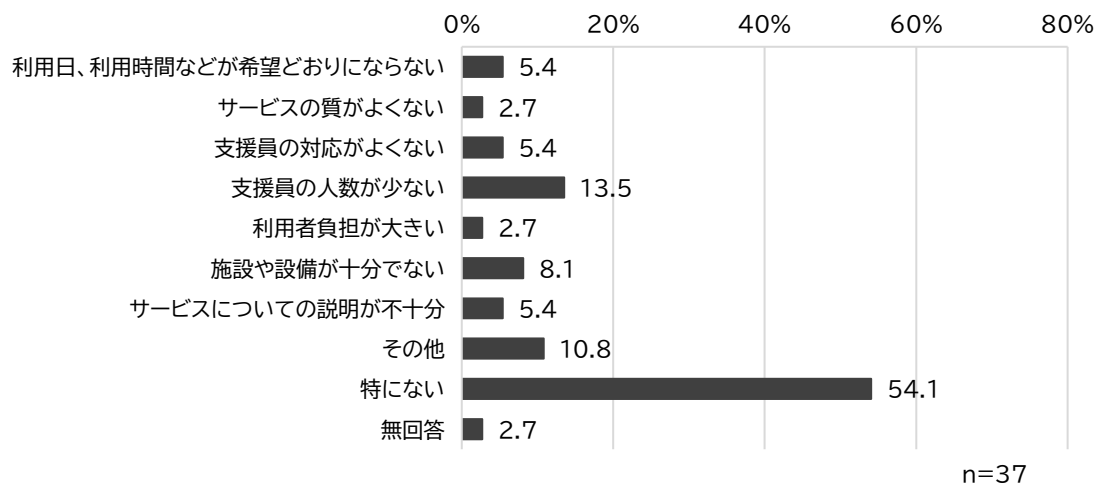
### ②利用者支援での課題

「困難事例への対処が難しい」が 35.1%で最も高く、次いで「全体的な人員不足」が 29.7%、「支援者のスキルが不足している」(27.0%)の順となっています。



### ③サービス利用者からの苦情や相談

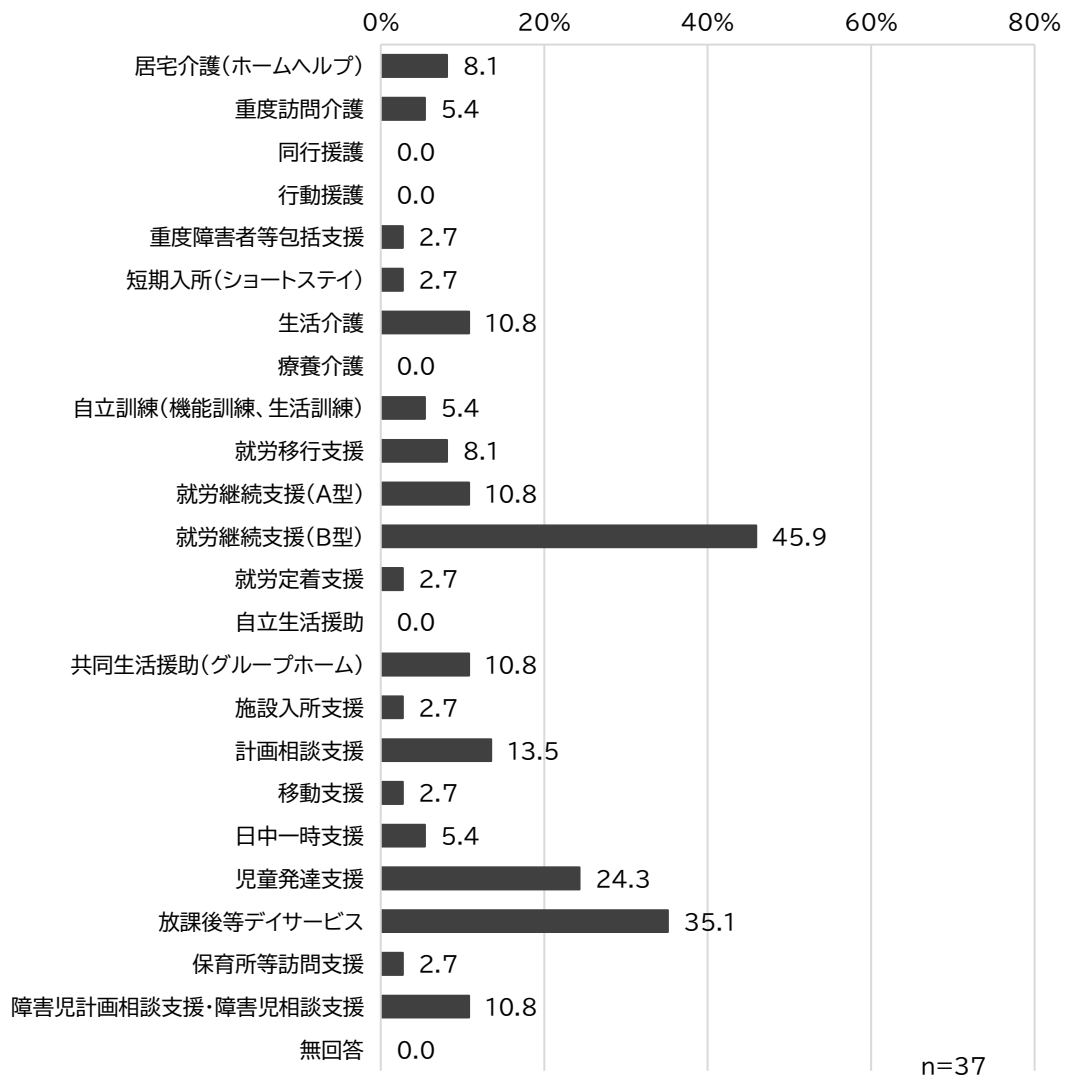
「特にない」が 54.1%を除くと、「支援員の人数が少ない」が 13.5%となっています。



問3 貴法人・事業所で、現在提供している障がい福祉サービスについておたずねします。

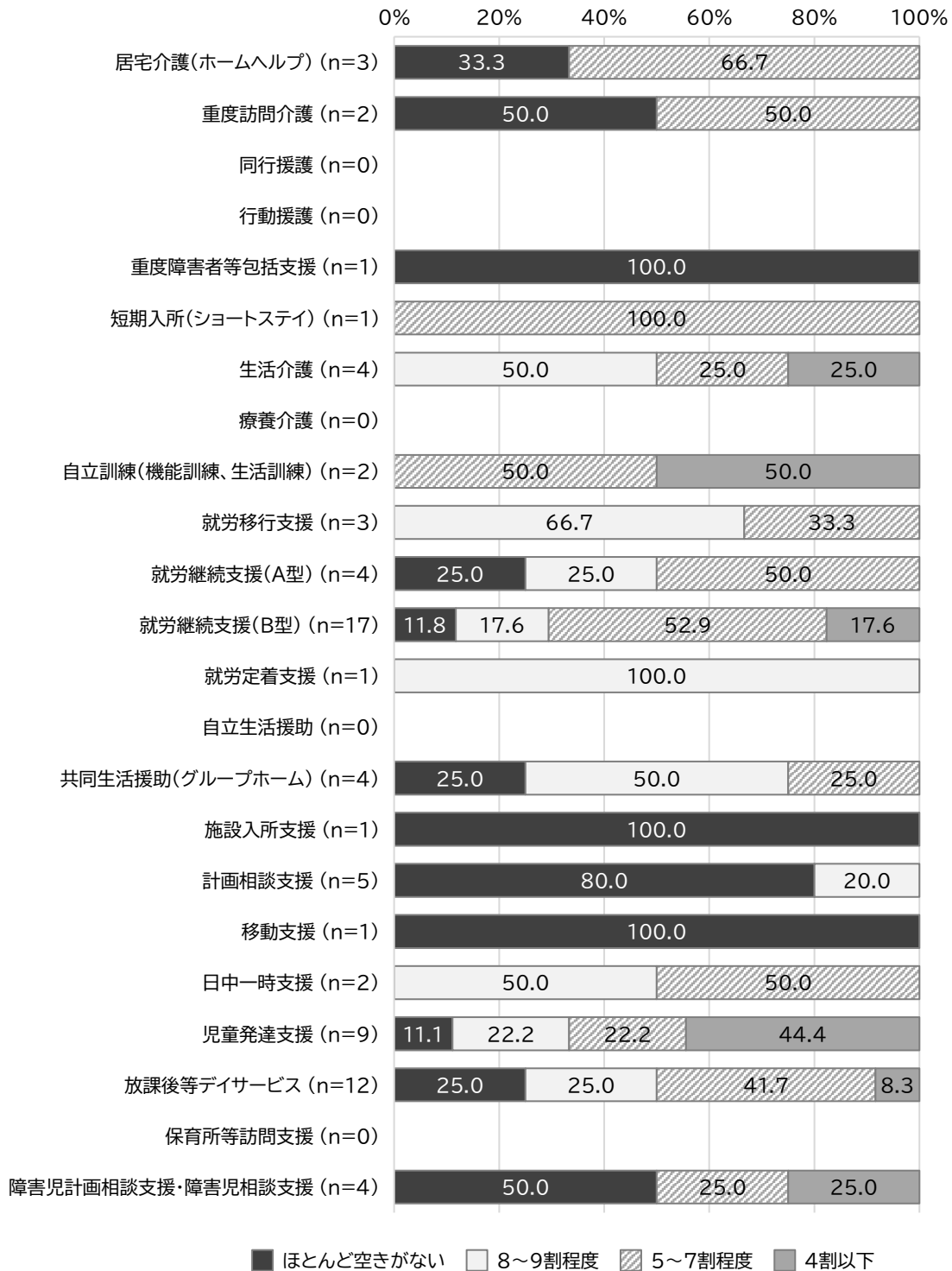
①貴法人・事業所で提供しているサービス

「就労継続支援(B型)」が45.9%で最も高く、次いで「放課後等デイサービス」が35.1%、「児童発達支援」(24.3%)の順となっています。



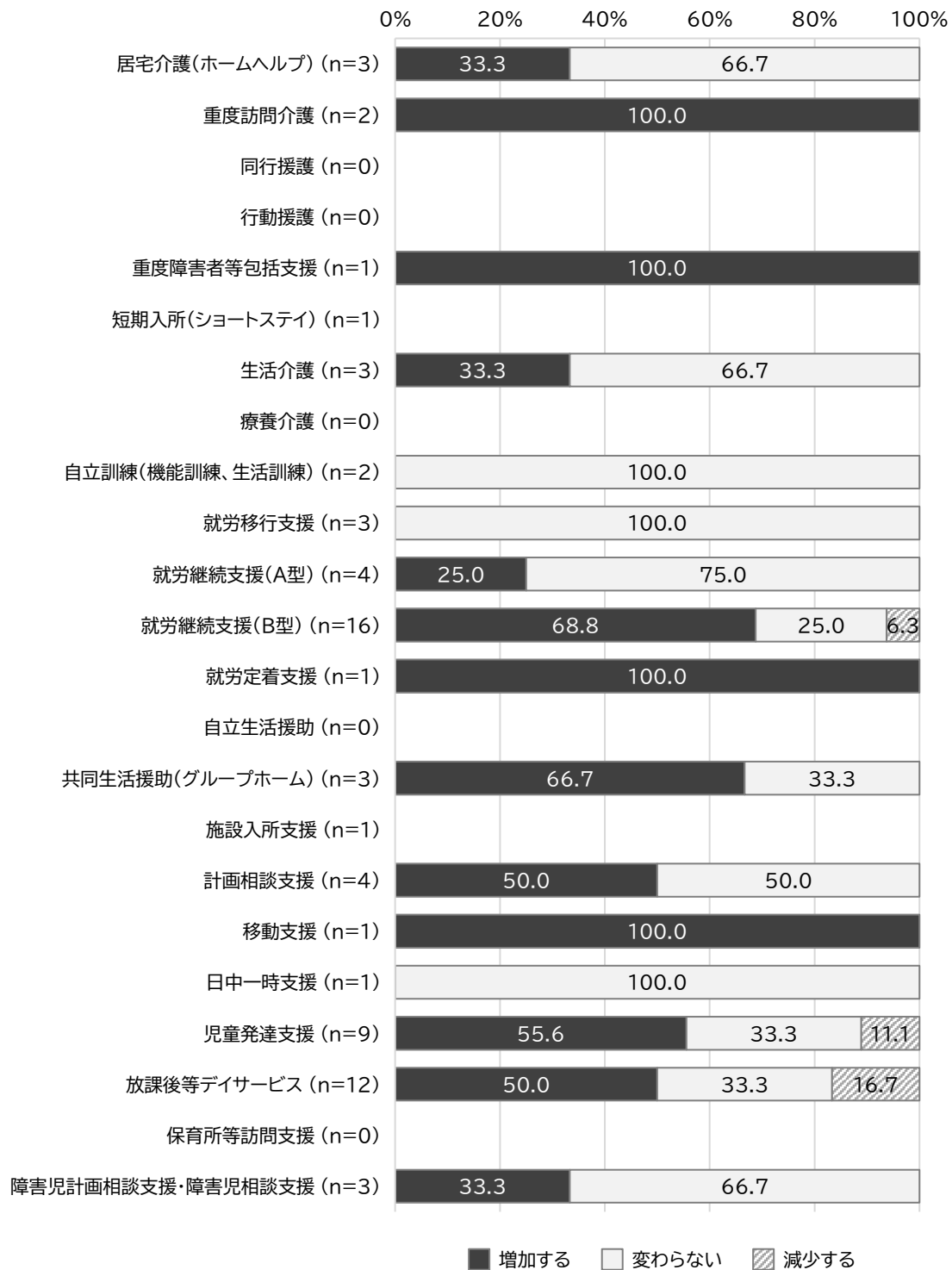
②提供しているサービスの利用定員に対する稼働割合

重度障害者等包括支援、就労定着支援、施設入所支援、計画相談支援、移動支援は、「ほとんど空きがない」や「8～9割程度」が高くなっています。



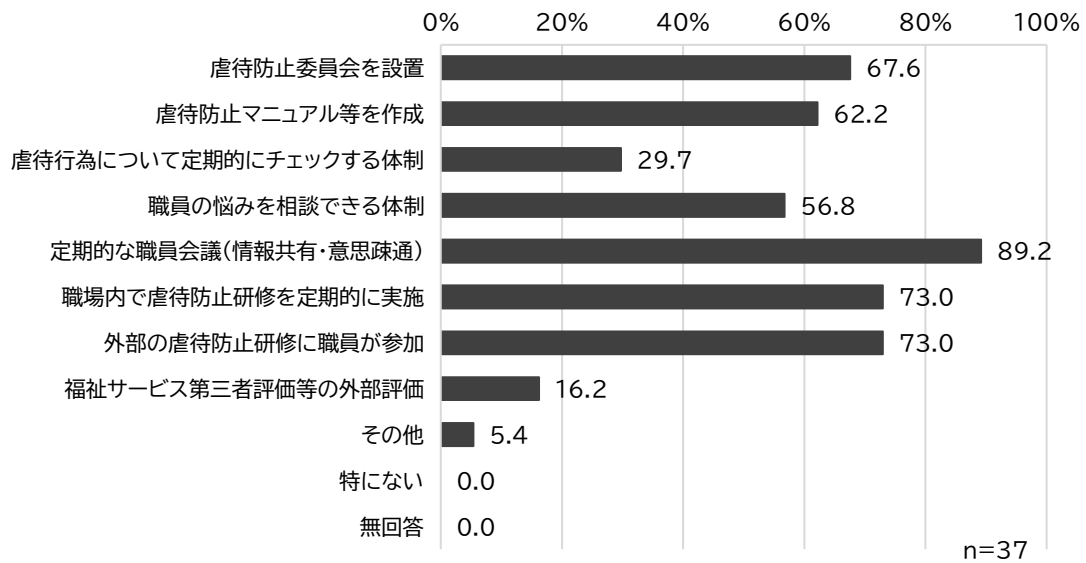
### ③提供しているサービスの今後3年間の利用見込み

重度訪問介護、重度障害者等包括支援、就労定着支援、移動支援は、「増加する」が高くなっています。



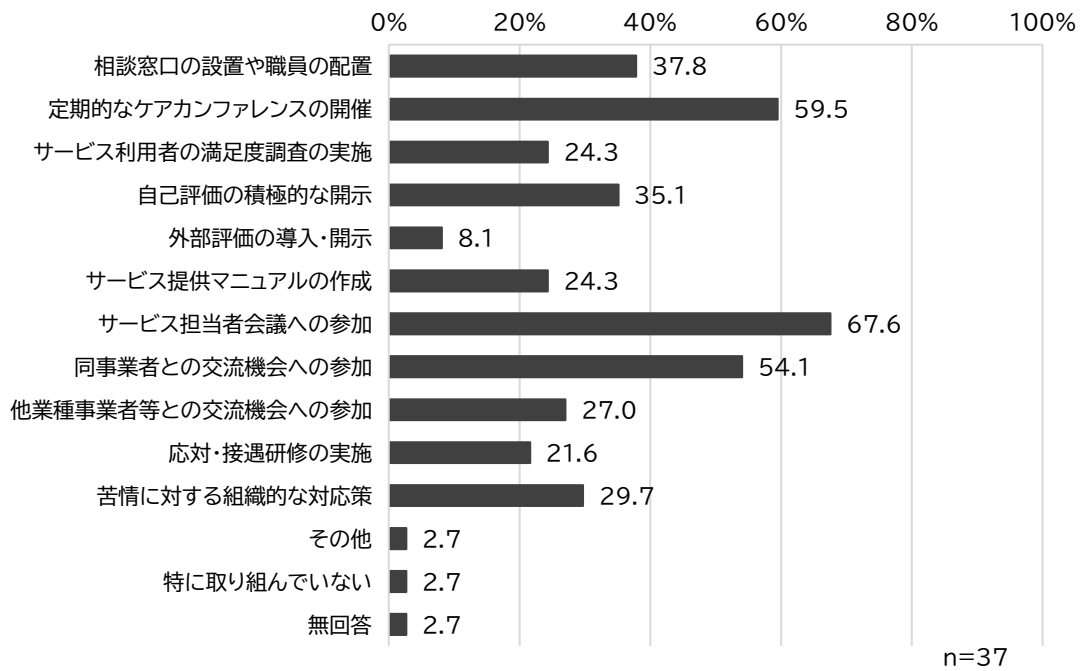
問4 貴法人・事業所ではどのような虐待防止対策に取り組んでいますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「定期的な職員会議(情報共有・意思疎通)」が 89.2%と最も高く、次いで「職場内で虐待防止研修を定期的実施」と「外部の虐待防止研修に職員が参加」が 73.0%、「虐待防止委員会を設置」が 67.6%、「虐待防止マニュアル等を作成」が 62.2%、「職員の悩みを相談できる体制」(56.8%)の順となっています。



問5 サービスの質の向上のため、現在重点的に取り組まれていることはありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

「サービス担当者会議への参加」が 67.6%で最も高く、次いで「定期的なケアカンファレンスの開催」が 59.5%、「同事業者との交流機会への参加」が 54.1%となっています。





問6 長沼町の障がい福祉の取組について、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

#### 自由意見

利用児童のご家族を含め、全体像がつかみづらい状況です。(保護者への支援や兄弟姉妹との関係など)事業所の役割と関係機関への橋渡しに悩むことが多い。関係機関が顔を合わせる機会があると、つながりを持つきっかけになると思います。

相談支援(計画作成等)で地域担当職員が週1日のペースで、南空知各町及び事業所を訪問しています。連合での委託相談事業所か基幹センターがあるとよいと感じます。

長沼町の障がい福祉の取組みについて、詳しく知る機会があれば、支援にも役立てるのではないかと考えます。

以前、社会福祉協議会主導で、利用者宅でのサービス担当者会議があり(年1回以上)、共有の機会としてとてもよかった。再開してほしい。

授産品の優先発注について、制度のPR等に力を入れていただきたいです。

新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、作業量も増えてきています。組織的な改革で就労事業・福祉事業ともに黒字の収支が続いており、福祉サービスの質の向上も図っています。利用定員には余裕があり、受け入れを積極的に進めていきたいと考えています。

長沼町内に受け入れ可能な施設がないことが、当施設利用の主な理由となっています。送迎対応範囲外であるため、介護タクシーかご家族を頼るしかなく、家族負担・経済的負担が大きく、利用回数を増やせない現状があります。町独自のサービスや補助を検討していただきたい。



---

## **第3章**

### **障がい者支援に関する関係団体等調査 集計結果**

---

問1 貴団体のことについておたずねします。

名称	主な活動内容
長沼町身障福祉協会 (会員 69 人)	会員の親睦交流を目的とした、 日帰り研修及び宿泊研修の実施 新年会の開催 町主催 福祉運動会への参加 など
長沼町子どもの未来を 考える親の会 虹の会 (会員 10 人強)	子どもがそれぞれの生活場所や年齢に合わせて、生き生きと活動できるように、親同士がお互いに手を結んで悩みや問題を解決できるようにすること。
みどりの来楽会 (会員 15 人)	長沼病院精神科受診者の居場所、楽しみの場として設立されたが、現在は心の安らぎを求める方などどなたでもの、リラクソスな場。主に調理レクリエーションをやっている。

問2 貴団体が日々の障がい者支援活動を行う上で、困っていることはありますか。

名称	主な活動内容
長沼町身障福祉協会	会員の高齢化による役員の担い手不足 新規会員の確保が困難(個人情報保護法の規制による弊害により、障がい者の把握が困難) 事務局員のマンパワー不足
長沼町子どもの未来を 考える親の会 虹の会	親同士のつながりを求める親が減ってきているように感じる。ネットで色々な情報が手に入るからなのか、人と人との関わりはあまり求められていないのではないか。 会員が増えれば、活動を再開したい。
みどりの来楽会	担い手の減少・高齢化 コロナ禍においてグループホーム入居者の参加が難しくなり、ボランティアも70歳以上が主なので、活動が制限されてしまった。 ボランティアの健康等の都合もあり、今後の活動を続けることができるかどうか。

問3 次にあげる障がい者福祉の1～8の主な分野について、貴団体の活動にとって「特に重要」と思われる項目の番号を3つまで選んでください。

「障がいへの理解と交流の促進」と「地域における生活支援」が2団体となっています。



問4 今後、貴団体で進めていこうと思う取組と、そのために行政(町)と協働して取り組むべきこと、または提案などがありましたらご記入ください。

長沼町身障福祉協会

重要と思う分野	団体で取り組むこと	行政と協働して取り組むことや提案
雇用・就労	会員に対する周知及び連絡調整	障がい者の雇用を受け入れてくれる「企業等」の誘致への取り組み
地域における生活支援	会員の相談窓口及び連絡調整	地域で抱えている課題は、それぞれで異なり内容も多岐に亘る。予算面やパワー面から、すべてを公助(行政)としての事業展開は難しいと思われるので、「地域の課題は地域で解決する」ことが必要。共助(町内会)活動の育成を図る支援強化を望む。
生活環境の整備	会員の要望を取りまとめ、町に対して団体要望書を提出する。	障がい者が住みよい町づくりのためには、施設におけるバリアフリーなどハード面の整備も重要である。 「障がい者に対する偏見の除去や思いやりの心の育成」のため、児童・生徒を対象とした授業」をカリキュラムに入れてはどうか。

長沼町子どもの未来を考える親の会 虹の会

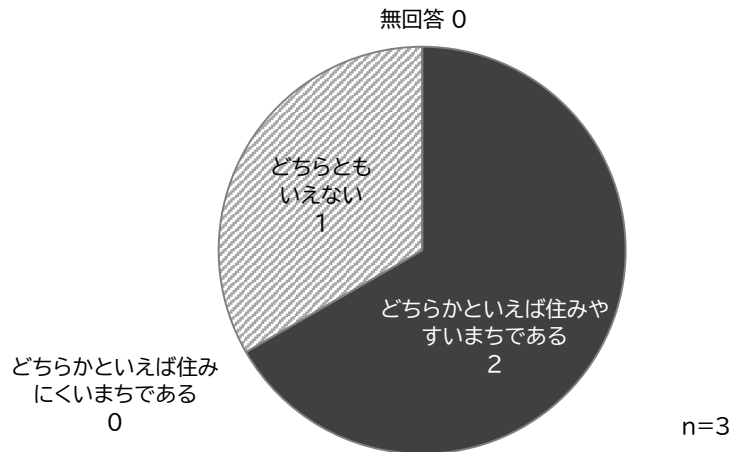
重要と思う分野	団体で取り組むこと	行政と協働して取り組むことや提案
障がいへの理解と交流の促進		発達障がいの理解を深めるための勉強会や子どもと関わるヒントをレクチャーする場があるとよいと思う。
療育・保育・教育	親同士の縦のつながり、横のつながり、先輩保護者から子どもの進路や就職先など情報共有できる場があるとよい。	

みどりの来楽会

重要と思う分野	団体で取り組むこと	行政と協働して取り組むことや提案
障がいへの理解と交流の促進	障がい者の存在を町民に知らせたい。	

問5 長沼町は、障がいのある人にとって、どの程度「住みやすいまち」だとお感じになりますか。次の選択肢のうち1つに○を付けて、そのように回答された理由や今後の課題を、その下の枠内にご記入ください。

「どちらかといえば住みやすいまちである」が2団体、「どちらともいえない」が1団体となっています。



理由や今後の課題
福祉や療育サービスは充実していると思う。一方で、町全体のバックアップというよりも、職員の親切でよくしてもらっている感じがする。
困っていることを相談しやすい環境、支援施設の紹介、利用の配慮はありがたい。
看護師が配置されていれば、保育園に入園できたかもしれない障がいのある子どもがいる。看護師の配置をもっと積極的に行ってほしい。
「都会にない静寂性」と、田舎にない利便性」の二面性があり、車を持つ健常者にとっては「住みやすいまち」と思う。一方、障がい者にとっては、就労先の確保や公共交通の利便性に課題があると思われる。





**長沼町**  
**関係団体ヒアリング等ヒアリング調査**  
**結果報告書**

---

発行日：令和 5 年 9 月

発行：長沼町

編集：長沼町 保健福祉課

〒069-1392

北海道夕張郡長沼町中央北 1 丁目 1 番 1 号

TEL 0123-88-2111 (代表)

ホームページ <https://www.maoi-net.jp/>

---